

わかりやすい予算書

ことしの予算

平成28年度版

亀山市

太岡寺躰(太岡寺町)

336億 50万円

平成28年度予算総額

平成28年度予算は、第1次総合計画の必達及び若者定住促進と新しい自治のしくみの確立に積極果敢に取り組み、持続可能な行財政運営の確立に向け、事業の選択と集中による行政経営資源の再分配と歳入に見合った歳出の基本姿勢に立ち、精査を重ねた予算編成としました。

「第1次総合計画の必達」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略の具現化」、「行財政改革の強力かつ着実な実践」を重点とした予算を編成

平成28年度に取り組む主な事業として、魅力的な都市空間を目指すため亀山駅周辺整備事業や、関の山車会館整備事業に着手するとともに、教育環境の整備として川崎小学校改築事業などを実施していきます。また、全地区での地域まちづくり協議会設立に向け、地域コミュニティのしくみづくり支援事業を実施するほか、若者定住を促進する若者交流推進事業、5月に開催される伊勢志摩サミット推進事業、まち・ひと・しごと創生総合戦略の各事業を展開します。



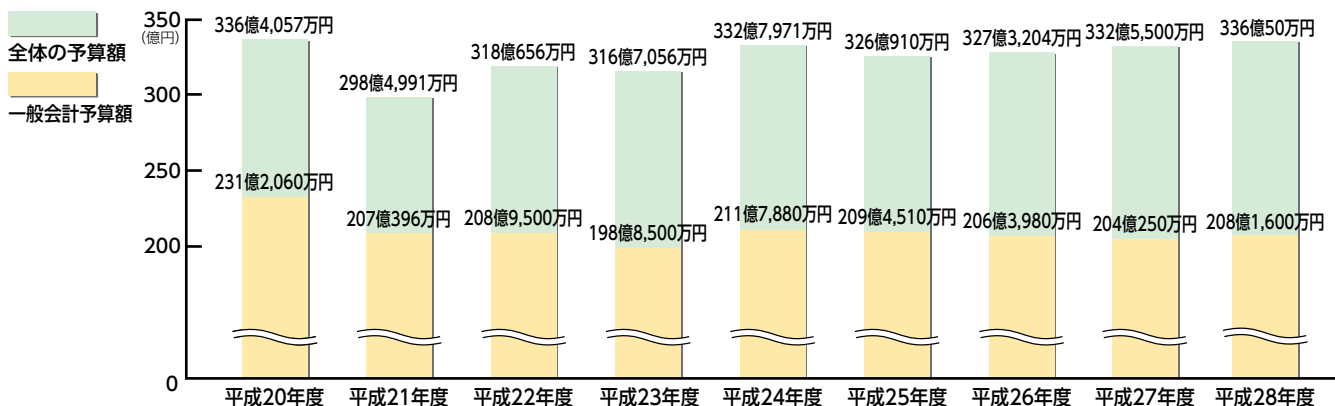
特別会計は、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計と区別して収入・支出を経理する会計です。

- ①国民健康保険事業 52億1,550万円(前年度比0.2%増)
- ②後期高齢者医療事業 8億9,390万円(前年度比3.7%増)
- ③農業集落排水事業 4億5,150万円(前年度比6.8%減)

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。

- ①水道事業 17億2,250万円(前年度比3.1%減)
- ②工業用水道事業 8,270万円(前年度比7.2%減)
- ③公共下水道事業 23億5,110万円(前年度比0.4%減)
- ④病院事業 20億6,730万円(前年度比0.3%減)

○全体の予算額と一般会計予算額の推移



一般会計を

大解剖

一般会計とは、福祉や防災、道路、教育など市役所の基本的な仕事に関する収入と支出を管理する会計です。

総額

208億1,600万円

歳入

歳出

市税 102億3,840万円

市民税や固定資産税など

繰入金 16億534万円

貯金(基金)の取り崩し

諸収入 3億5,318万円

雑収入など

繰越金 1億円

前年度からの繰越金

その他 6億8,378万円

保育料や使用料など

* **自主財源**

市が自主的に収入できる財源

国庫支出金 22億4,615万円

国からの補助金など

市債 15億2,850万円

公共事業の財源とするために借りたお金など

地方交付税 14億1,900万円

財政力に応じて国から交付されるお金

県支出金 10億6,265万円

県からの補助金など

地方消費税交付金 10億5,000万円

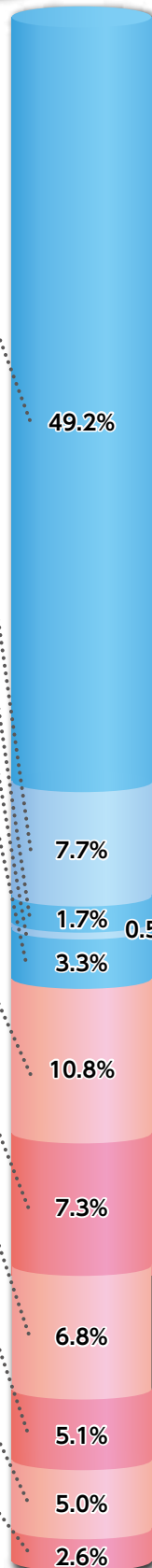
消費税のうち、地方分として市に配分されるお金

その他 5億2,900万円

地方譲与税など

* **依存財源**

国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入



自主財源
62.4%

依存財源
37.6%

民生費 64億6,853万円

障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護などに

教育費 32億1,687万円

学校教育、生涯学習、図書館、博物館などに

土木費 22億3,454万円

道路、河川、公園などの整備に

衛生費 22億1,899万円

健康増進、疾病予防、環境保全、ごみ処理などに

公債費 21億8,894万円

借りたお金(市債)の返済に

総務費 21億4,854万円

庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計などに

消防費 9億1,472万円

消防や火災予防などに

農林水産業費 7億3,164万円

農業、林業の振興などに

商工費 3億2,325万円

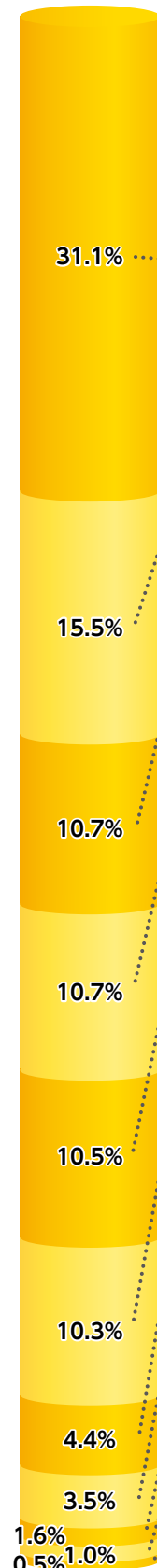
商業などに

議会費 2億3,929万円

議会運営などに

その他 1億3,069万円

基金積立金などに



災害に強い都市を目指して

市民や地域などと連携し、防災力の一層の向上を図り、地震災害や風水害などに強いまちづくりを進めます。

まち守りプロジェクト

舗装老朽化対策事業

予算額 1億3,700万円



道路管理の平準化、コスト縮減を図るため、年次計画に沿って予防保全的な修繕を実施します。特に今年度は、老朽化が著しい市道川崎白木線(フラワーロード)を重点的に実施します。

橋梁耐震化補強事業

予算額 3,000万円

市民の安心・安全を守るため、平成23年度に策定した橋梁耐震化補強事業計画に基づき、市が管理している橋長15m以上の橋梁の耐震補強を計画的に進めます。



プロジェクト事業の総額

2億8,884万円 (平成28年度)

地震対策・木造住宅補強事業

予算額 5,984万円

地震に起因する建物倒壊などの人的被害を防止するため、木造住宅の耐震診断調査から耐震補強計画・耐震補強工事にかかる一連の経費の一部を助成します。



森林環境創造事業

予算額 2,000万円



水源かん養機能や土砂災害防止機能などの森林の持つ公益的機能を発揮させるため、森林所有者から認定林業事業者が20年間の管理委託を受けた環境林について、間伐や植栽などの整備を進めます。

人にやさしい健康都市を目指して

みんなが健やかに幸福な暮らしを続けていけるよう、人にやさしい健康都市づくりを進めます。

みんな健康プロジェクト

がん検診推進事業

予算額 9,222万円

がんの早期発見と正しい知識の普及を図るため、各種がん検診の実施や啓発活動を行います。

【主な検診項目】

胃がん、子宮がん、大腸がん、乳がん、肺がん、前立腺がん



介護予防事業

予算額 2,369万円

高齢者が健康寿命を延ばし、地域で生きがいを持って生活ができるようにするため、要支援・要介護状態に移行することがないように介護予防教室の開催などの取り組みを行います。

次のような取り組みも行います

地域包括支援事業

予算額 5,426万円

在宅医療連携システム「かめやまホームケアネット」の運用により、利用者の情報を医師や訪問看護師等で共有するなど、地域包括ケアシステムの構築に取り組めます。また、地域包括支援センター等を通じて、高齢者のニーズや状態に応じた地域包括ケアを行います。

プロジェクト事業の総額

1億8,673万円（平成28年度）

三重大学亀山地域医療学講座支援事業

予算額 3,120万円

三重大学との寄附講座設置に関する協定を延長し、市立医療センターにおける診療体制の整備や総合医・家庭医の養成、本市をフィールドとした地域医療の研究への寄附を引き続き行います。



生活困窮者自立支援事業

予算額 1,931万円

生活困窮者の自立の促進を図るため、自立相談支援事業、住居確保給付金、家計相談支援事業、学習支援事業に取り組めます。

魅力的な都市空間を目指して

本市の持つ、交通の要衝としての強みや自然・歴史文化などの地域資源を活かし、まちの魅力を磨き上げ、快適で魅力ある都市づくりを進めます。

まち磨きプロジェクト

関の山車会館整備事業

予算額 7,100万円



関宿の伝統行事「関の山車」を受け継いで、次の世代へしっかりと伝えていくことで、関宿の歴史文化の保存と活用を行うため、その拠点となる関の山車会館の整備に向けた用地購入・設計等を行います。

亀山駅周辺整備事業

予算額 1,791万円



JR亀山駅周辺のにぎわいづくりと活性化、利便性および安全性の向上を図るため、亀山駅周辺市街地総合再生基本計画等に基づき、駅周辺の整備に向けた調査・設計等を行います。

プロジェクト事業の総額

2億968万円（平成28年度）

文化会館等大規模改修事業

予算額 3,100万円

施設の長寿命化と利便性の向上を図るため、中央コミュニティセンターの客席照明設備および調光設備の改修を行います。



次のような取り組みも行います

都市計画道路整備事業

(和賀白川線・野村布気線)

予算額 4億2,758万円

本市の産業の発展や市民生活の基幹を担う重要な道路ネットワーク構築に向けた幹線道路の整備を進めます。

子どもたちが輝く環境を目指して

本市の特色でもある「子育てにやさしいまち」の充実を図り、すべての子どもたちの笑顔を広げる取り組みを進めます。

子ども輝きプロジェクト

川崎小学校改築事業

予算額 12億7,320万円

児童数の増加に伴う教室不足や安全管理面などの課題を解消し、児童の学習および生活環境の向上を図るため、平成28年度は校舎の改築やプールの建設等を行います。



少人数教育推進事業

予算額 3,136万円



児童や生徒が確かな学力を身につけられるよう、小学校や中学校に講師を配置して、きめ細かな指導を行う本市独自の少人数教育を推進します。

プロジェクト事業の総額

15億8,640万円 (平成28年度)

福祉医療費助成事業(中学生)

予算額 3,400万円



中学生にかかる医療費負担の軽減を図るため、通院・入院に要する医療費への助成を行います。

次のような取り組みも行います

放課後児童健全育成事業

予算額 8,939万円

市内に16カ所ある放課後児童クラブに加え、平成29年度から対象児童の増加が見込まれる、井田川小学校区と川崎小学校区の施設開設に向けた支援を行い、放課後児童の安心・安全と子育て家庭の就労支援の更なる充実を図ります。

元気な地域づくり にむけて

防災・福祉・環境保全など地域づくりの幅広い分野において、共助の発揮が一層求められる中、人と人とのつながりを大切にした多様な主体による元気な地域づくりを促進します。

地域コミュニティのしくみづくり支援事業

予算額 719万円

引き続き、多様な主体が参画する包括的なしくみづくりに向けた取り組みの支援を行います。また、地域まちづくり協議会を設立した地域の更なる活動促進を図るため、地域活性化支援事業補助金による財政面からの支援を行います。

地区コミュニティセンター充実事業

予算額 3,459万円

活発な地域コミュニティ活動を展開し、活動拠点となる施設の整備・充実を図るため、天神・和賀地区コミュニティセンターの駐車場整備を行うとともに、各地区コミュニティセンターの改修等を行います。

市民活動応援事業

予算額 685万円



市民活動団体の自立や活性化を促進するため、市民一人ひとりが市民活動を応援できる市民活動応援制度を実施するとともに、新たな制度構築に向けた検討を行います。

このほか、こんな事業にも取り組みます

公共下水道施設整備事業

予算額 8億3,605万円

公衆衛生の向上や公共水域の水質保全のため、引き続き公共下水道の整備を進めます。

特定健康診査・特定保健指導事業

予算額 3,232万円

国民健康保険の被保険者に対し、生活習慣病に着目した特定健康診査や特定保健指導を実施します。

伊勢志摩サミット関連事業

予算額 252万円



写真提供 伊勢志摩国立公園協会

5月に開催される伊勢志摩サミットは、多数の外国人が来県することが想定されることから、県と一体となった取り組みを展開するとともに、これを絶好の機会と捉え、本市の魅力を発信します。

若い世代の定住を目指して

地方創生における取り組みとして、若者が本市で働き、暮らし、楽しみながら豊かな人生を過ごせる環境づくりを進めます。

シティプロモーション戦略事業 (平成27年補正)

予算額 1,860万円

本市の多様な魅力を抽出し磨きあげ、市内外にアピールしていけるよう、シティプロモーションの方向性を明らかにし、移住・定住の促進を図ります。



移住交流促進事業(平成27年補正)

予算額 555万円



本市への移住を促進するため、移住に関する総合的な相談窓口を設置するとともに、インターネットや都市部での移住フェア等を通じた情報発信を行います。

婚活支援事業(平成27年補正)

予算額 190万円

結婚を希望する市民等を対象に、婚活イベント等を開催し、出会いの機会を提供することで、出会い・結婚を応援します。



若者交流推進事業

予算額 126万円



若者が自主的に交流活動を考える会議を設置し、イベント等の企画・運営などを検討することにより、市内の若者同士の交流の促進および市の事業における若者の積極的な参画を促進します。

亀山家(市)

年収約420万円の
家計に例えると…
(市予算の1/5000)

平成28年度の一般会計予算を5,000分の1にして、家計簿に例えてみま
市の予算にはさまざまな種類の歳入と歳出があり、一般の家庭とは少し



おじいちゃんとおばあちゃんから仕送りするね。大事に使ってね。

基本給は増えたけど、諸手当が減ってしまったよ。仕送りが増えて助かったけど、貯金の取り崩しに頼らないようにしなきゃいけないね。



市税

市民の皆さんから納めていただく税金。
市民税、固定資産税、
軽自動車税、たばこ税など

地方交付税

国税のうち市の取り分として
交付されるお金

譲与税・交付金

国税・県税のうち市の取り分として譲与・
交付されるお金

諸収入

延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入
など

使用料・手数料

市営施設の使用料や住民票の写しの交付
手数料など

国庫支出金

国と市が共同で行う事業のために国が市
に支出するお金

県支出金

県が市に対して支出するお金

市債

市が国や銀行から借りるお金

繰入金

市の基金から引き出すお金

繰越金

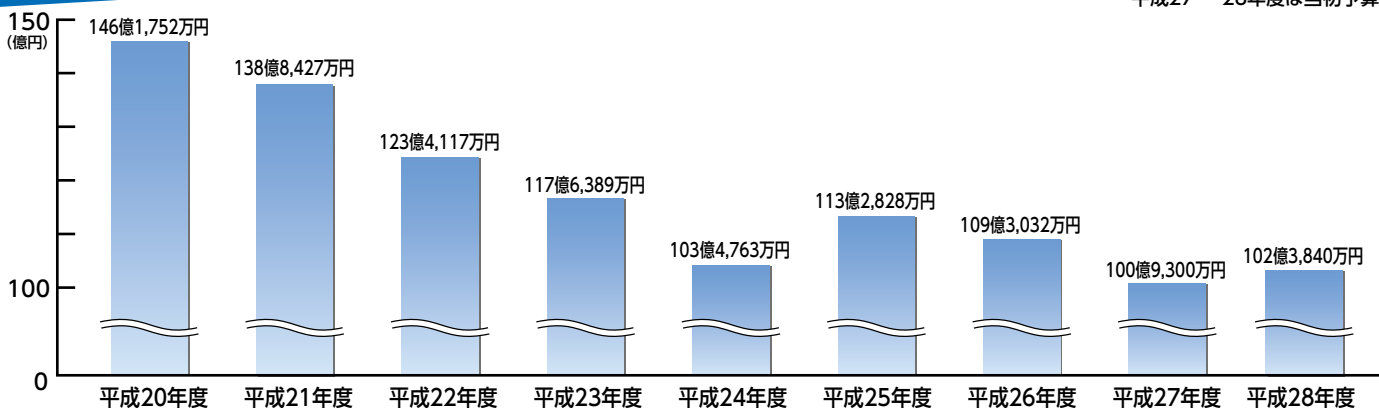
前年度から引き継ぐお金

収入

27年度からの
増減

	現金収入合計	351万円	(+6万円)
①	給料(基本給)	212万円	(+2万円)
②	給料(諸手当)	60万円	(-1万円)
③	パート収入	13万円	(0万円)
④	祖父母からの仕送り	66万円	(+5万円)
⑤	ローン(借入金)	31万円	(-1万円)
⑥	貯金の取り崩し	32万円	(+2万円)
⑦	繰越金	2万円	(+1万円)
	収入合計	416万円	(+8万円)

市税収入の推移



の家計簿

した。
違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…

支出

27年度からの
増減

生活費合計	305万円 (+21万円)	
食費	66万円 (0万円)	①
医療費	64万円 (+7万円)	②
光熱水費など雑費	100万円 (-9万円)	③
車などの修理代	11万円 (+1万円)	④
教育費	64万円 (+22万円)	
子どもへの仕送り	35万円 (+2万円)	⑤
ローンの返済	44万円 (-1万円)	⑥
家や庭の建築・改修	29万円 (-8万円)	⑦
貸付など	1万円 (-6万円)	⑧
貯金など	2万円 (0万円)	⑨
支出合計	416万円 (+8万円)	

人件費

市職員の給料や議員報酬など

扶助費

生活保護、障がい者支援、医療費助成など
福祉に使うお金

物件費

光熱水費、消耗品費、業務委託料など

補助費等

報償費、負担金、補助金など

維持補修費

道路、公共施設を維持するために必要なお金

教育費には人件費や物件費、
普通建設事業費などが
含まれています。

繰出金

国民健康保険事業などの他の
会計への繰出金

公債費

市債の元金・利子や一時借入金の利子

普通建設事業費

道路・学校・庁舎など、公共・公用施設の新築・
改修に使うお金

貸付金

福祉増進や地域振興のために貸すお金

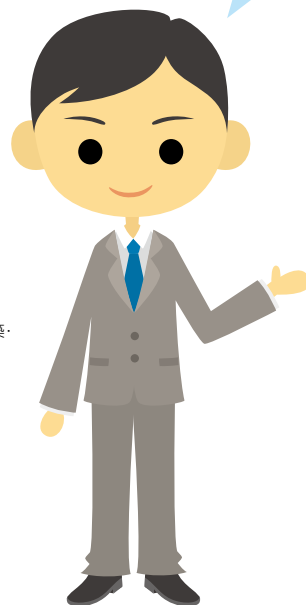
積立金

将来の財源変動に備えて積み立てるお金

ローンの返済がある
なかで、子どもへの仕
送りも必要だから大
変なんだ。

教育費と医療費が増
えたね。今以上の節電
や節水を心がけない
といけないね。

古くなった家や庭の
改修も、よく計画して
からやろう。



平成28年度の家計は…

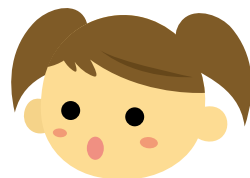
収入では、昨年度に比べて基本給は少し増えるものの、諸手当が減る見込みです。

しかし、医療費の出費に加えて、教育費が大きく増える見込みですので、祖父母からの仕送りに頼り、不足する分は、貯金の取り崩しにより補っています。

支出では、ローンの返済額は減ったものの、家などの改築・改修や、教育費や医療費のほかの生活費の出費を極力抑えることとしています。

このような中で、来年度以降も給料の減少が見込まれており、節電や節水に努めるのはもちろんのこと、その他の出費についても無駄がないか徹底的に見直して節約します。また、貯金の取り崩しやローンの借入を最小限にとどめるなど、家計の安定に向けてより一層の努力していきます。

家計簿をしっかりとチェックして、収入に見合った支出を心がけたいね。



豊かな自然・悠久の歴史
光ときめく亀山



平成28年度版 亀山市

わかりやすい予算書
ことしの予算

編集・発行 亀山市企画総務部広報秘書室
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地
TEL 0595-82-1111(代) FAX 0595-82-9955
URL <http://www.city.kameyama.mie.jp>